

第1回 町田市下水道事業審議会 議事要旨

日 時：2020年7月7日（火）14：00～15：45

場 所：町田市庁舎 2階 2-2会議室

出席者：委 員 長岡 委員（会長）、大久保 委員、石原 委員、大内 委員、
内藤 委員、細野 委員、小菅 委員、神保 委員

事務局 野田 （下水道部長）、今國 （下水道部次長）、
北川 （下水道整備課長）、杉山 （下水道管理課長）、
西川 （水再生センター所長）、鎌野 （下水道経営総務課 担当課長）、
下水道経営総務課 齊藤、北原、神藏、結城、中山、熊谷、鈴木、古賀
下水道整備課 北原、福田、
下水道管理課 西澤、比留間、
水再生センター 布施、松井

欠席者：委 員 市古 委員（副会長）、鶴川 委員

傍聴者： 0名

次 第：（1）委員委嘱

（2）本審議会の進め方について

（3）会長、副会長の選出

（4）諮問

（5）下水道部長挨拶及び関係職員自己紹介

（6）〔議案審議〕議案第1号（仮称）「町田市下水道事業経営戦略」の策定について

（7）その他

資 料：事前配布 『（仮称）町田市下水道事業経営戦略』（資料1）、

『町田市下水道事業審議会条例』、

『町田市下水道事業審議会運営規則』

当日配布 『第1回 町田市下水道事業審議会 次第』、

『諮問書（写）』（資料2）、

『委員名簿』（資料3）、

『席次表』（資料4）、

『2020年度 審議会スケジュール表』（資料5）、

『用語集』（資料6）、

『町田市下水道ビジョン』、

『町田市下水道アクションプラン』

説明資料（プロジェクター投影）

『地勢図』

『類似団体比較表』

(1) 委員委嘱

出席した8名の委員に対し、委員委嘱を行った。(欠席した2名の委員委嘱は事務局対応)

(2) 本審議会の進め方について

事務局から、本審議会の進め方について説明を行った。

説明内容：会議の定足数の報告、審議会の公開、会議録の作成、
審議会の開催時間及びスケジュール、会議中の注意点、
配付資料の確認、議事の進め方、

(3) 会長、副会長の選出

会長には長岡委員、副会長には市古委員を選出した。

(4) 諮問

木島副市長より「町田市下水道事業経営戦略の策定」について諮問を行った。

(5) 下水道部長及び関係職員自己紹介

<野田下水道部長>

町田市の地域の特性、町田市の下水道の歴史・普及状況、「単独処理」と「流域下水道」の違い、下水道の排除方式 について説明

<今國下水道部次長>

主な業務：下水道部の部総務、下水道部内の予算・決算に関すること、下水道使用料や受益者負担金に関すること、総合治水事業に関すること、下水道部全体にかかわる計画に関すること

課 題：経営基盤の強化や財政マネジメントの向上

<北川下水道整備課長>

主な業務：汚水管の整備工事、雨水管の整備工事、地震対策、管渠の改築更新工事

課 題：汚水管未整備箇所の解決、雨水管整備手法の検討、マンホールトイレシステムの整備完了、管渠の改築更新における優先度と費用との調整

<杉山下水道管理課長>

主な業務：下水道管渠・調整池・水路等の点検・調査・修繕等の維持管理、下水道施設設置の指導等

課 題：管理している施設が膨大、施設の老朽化

対 策：リスクの高いところ簡易的に調査・判定するためのスクリーニング調査

<西川水再生センター所長>

主な業務：2箇所の下水処理場（成瀬クリーンセンターと鶴見川クリーンセンター）と1箇所のポンプ場（鶴川ポンプ場）の維持管理

課題：各施設の耐震化や設備の老朽化

対策：事業の平準化

(6) 『議案審議』 議案第1号（仮称）「町田市下水道事業経営戦略」の策定について

■（仮称）「町田市下水道事業経営戦略」の構成について、事務局から説明を行った。

第1章「経営戦略の趣旨」 … 目的、内容、期間を明示。

第2章「下水道事業の現状と課題」

… 日本全体をとりまく社会情勢の変化、町田市の下水道事業について説明。

第3章「下水道事業を取り巻く将来推計」 … 基礎データの確認。

第4章「経営の基本方針」 … 経営の基本方針を明文化。

第5章「効率化・経営健全化の取組み」

… 経営基盤の強化と投資の合理化、危機管理体制の強化について。

第6章「今後10ヵ年の事業計画」 … 6つのテーマにわけて事業を説明。

第7章「財源計画」 … 財源の試算と見通しについて説明。

第8章「投資財政計画」 … 財政シミュレーションと投資財政計画の説明。

第9章「経営戦略の進捗管理」 … P D C Aサイクルによる管理の実施について。

■『資料1』（第1章・第2章）について、今國下水道部次長から説明を行った。

※ 図16～22については、全国平均、近隣3市平均、多摩26市平均の値を追加した資料を用いて説明。

<質疑／応答>

- 晴天時と雨天時で下水処理場へ流れ込む汚水の量にはどれくらい差があるのか。また、降雨量が大きい場合、汚水を簡易処理のみで川へ放流することはあるのか。
→ 不明水の量（雨天時に汚水管に入る雨水等の量）については、はっきりとしたデータを持ち合わせていないが、町田市公共下水道事業計画における想定範囲内と認識している。また、不明水流入の原因となる雨水管の誤接続や汚水管の老朽化箇所について、約3年前から調査を進めている。簡易放流等の実績はない。
- 図11について、2018年で基準外繰入が大幅に増えているのは、総務省が定めている繰入金の定義が変わったためか。
→ そのとおり。資料内に説明を追記する。
- 図16～22について、どの値も全国平均が非常に悪いようだが、出典は何か。
→ 確認の上、次回報告する。

■『資料1』（第3章・第4章）について、今國下水道部次長から説明を行った。

<質疑／応答>

- ・18ページ図16と22ページ表7に記載のある2018年度の町田市の使用料単価について、10円程度の違いがみられるが、なぜか。
→ 図16は消費税抜きの単価、表7は消費税込みの単価となっているためである。使用料単価は通常、消費税込みの価格を用いるため、図16を修正する。
- ・第4章に記載されている「経営の基本方針」について、経営改善を行うための具体案はどのようなものがあるのか。概算の経費や事業実施における費用対効果と合わせて教えて頂きたい。
→ 具体案については、現在、事業の優先順位等を検討している段階であり、次回以降の審議会において10カ年の事業計画を提示することを予定している。概算の経費や事業実施における費用対効果についても可能な限り提示する。
- ・下水道使用料について、自分たちが排出した汚水の処理に係る費用だけでなく、不明水の処理にかかる費用も含まれているのであれば、市民感覚としては納得されないのではないかと感じている。不明水の量などを整理したうえで、説得力のある説明をしてほしい。
→ 検討する。
- ・町田市の汚水の中で、一般家庭から出る割合と、それ以外の学校や工場から出る割合はどれくらいなのか。
→ 調査する。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でテレワーク人口の増加等、生活環境に変化が生じているが、汚水量等にも影響は出ているのか。
→ 下水処理場における汚水流入量の変化について、具体的には把握していない。テレワーク等により個人宅からの汚水排出量が増加する可能性がある一方で、営業自粛等により店舗からの汚水排出量は減少する可能性があるかと予測している。また、汚水が処理場に入ってくる時間帯については、午前中のピークが従前よりも1時間程度遅くなり、午後のピークは1時間程度早まるという変化が見られた。
- ・9ページ図4について、数年ごとに極端なピークが見られる理由はどのようなものか。
→ 1988年のピークは、三輪の土地区画整理事業などで整備された管渠の受贈を受けたものであり、2002年のピークは、多摩ニュータウンの土地区画整理事業で整備された管渠が受贈されたものである。説明文の追記を検討する。

- ・町田市が単独公共下水道として下水道施設を整備している理由等がわかりやすくなるよう、地形の説明を追記してほしい。
- 地勢や沿革などを追記する。

■次回以降の審議会への持ち越しとなった課題について、以下9点であることを事務局から確認した。

- ① 14ページ図11の基準外繰入の部分について、基準が変わったことを追記する。
- ② 18ページ以降の図に全国平均などを追加し、その出典を明記する。また、全国平均が飛び抜けた値となっている理由についても明記する。
- ③ 18ページ図16の使用料単価を、消費税込みの価格へ修正する。
- ④ 経営改善の具体案を示す際、概算の費用や費用対効果も提示する。
- ⑤ 汚水量について、一般家庭や大口の割合を調べる。
- ⑥ テレワークの増加など社会状況が変わる中で見えてきた流入量などのデータを示す。
- ⑦ 9ページ図4について、管渠整備状況が飛び出ている部分の説明を追記する。
- ⑧ 町田市の地形・地勢など、基本データを追記する。
- ⑨ 不明水について、量などを記載する。

(7) その他

事務局から以下4点について説明を行った。

- ① 第2回の審議会の日時及び開催場所
- ② 本日の審議会の議事録の確認及び公表時期
- ③ 審議会の書面開催もしくはリモート開催
- ④ 処理場見学について

閉 会